

# 国道442号周辺の 開発方針は

**答** 現時点では具体的な方針はない



永松 孝信 議員

**問** 国道442号沿線は商業施設ができ、今後ますます開発が進むと思うが、開発の方針は。  
**市長** 現時点では、具体的な都市計画方針や事業計画はないが、平成29年度から都市計画の見直し



開発が進む国道442号沿線

に向けた課題整理に着手していききたい。

**問** 都市計画の見直しはどのくらいの期間がかかるのか。具体的な内容は。  
**都市対策課長** 目標は4年。これまで筑後市の土地は75%が用途制限のない土地であったため、これらに開発の規制をすることが中心になる。

**問** 農業とのバランスは。  
**都市対策課長** 無秩序な都市拡大を抑制し、優良な農地は保全しながら調和を図る。国や県の方針を念頭に関係機関とも連

携し、バランスを保っていく。

## 企業誘致のための 土地が不足

**問** 企業誘致の現状は。  
**商工観光課長** 年間10件程度 of 用地の問合せがあるが、紹介できる土地が不足し、需要には応えられていない状況。

**問** 28年度から産業用地適地調査を実施し、市内の開発適地を選定している。29年度は選定した2箇所を対象に、基本計画を策定する予定である。

# 市立病院はなくなるのか



松竹 卓生 議員

**問** 新聞で「公立八女総合病院と市立病院に久留米大学が統合提案」との報道があった。市立病院はなくなるのか、という不安が市民にあるが。



八女・筑後医療圏で唯一の災害拠点病院の筑後市立病院

**答** 必要だという声がある以上経営を続けていきたい

**市長** 昨年6月、久留米大学長と面会した時に「大学の医局員が減っている。もし両病院が統合すれば医師の派遣がしやすくなる」との話があった。私は「市立病院は平成23年に地方独立行政法人化し、非常にいい経営状況である。今すぐの統合は難しい」と答えた。

**問** 市立病院を必要としている人は多いが、筑後

**問** コミュニティ自動車交通事故の不安への対応は

市としての選択肢は何か。  
**市長** 市立病院は必要だという市民の声がある以上、経営を続けていきたい。関係機関と情報交換する場を設け、方針を決めていく。

市立病院を必要としている人は多いが、筑後

**問** コミュニティ自動車交通事故の不安への対応は  
**都市対策課長** どのような事故でも自動車契約者である市の責任はあると考えている。現在、任意保険に加入しており、運行については大半がこの保険の補償で対応している。対象外の事故は地域と協議し方向性を見出す。